

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111C003		生活(小)(Life Environmental Study (elementary school))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	1	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 麻生 良太 E-mail ryoaso@oita-u.ac.jp 内線 7584											
授業の概要	小学校「生活科」の教科目標を社会認識、自然認識、自己認識の観点からとらえ、生活科の授業において基礎となる各領域の専門的知識、技術などを実際に体験・考察する。教室内の講義だけでなく、作品制作、実習等により、生活科の基礎基本の意味やあり方についても検討する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 生活科のねらいを説明することが出来る。																	
目標2 生活科の授業に必要なさまざまな分野の基礎的な知識を習得する。																	
目標3 生活科の授業で必要となる教材研究の手法がわかる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション：授業の進め方について																	
2 「生活科」とは何か：学習指導要領が示す教科の到達目標、学習内容について																	
3 「生活科」とは何か：自然とのかかわりから見た生活科																	
4 「生活科」とは何か：社会とのかかわりから見た生活科																	
5 「生活科」とは何か：自己とのかかわりから見た生活科																	
6 「生活科」の指導内容：自然認識領域の教材について - 自然の中での活動 -																	
7 「生活科」の指導内容：自然認識領域の教材について - 自然物を使った作品づくり -																	
8 「生活科」の指導内容：自然認識領域の教材について - 生物との関わり -																	
9 「生活科」の指導内容：社会認識領域の教材について - 地域との関わり -																	
10 「生活科」の指導内容：社会認識領域の教材について - 身の回りの環境と安全 -																	
11 「生活科」の指導内容：自己認識領域の教材について - 幼児期における体験と自己 -																	
12 「生活科」の指導内容：自己認識領域の教材について - 自己の成長の自覚 -																	
13 「生活科」の指導内容：幼保小連携について - 幼保小連携の意義と課題 -																	
14 「生活科」の指導内容：幼保小連携について - 幼保小連携の実際（スタートカリキュラム）																	
15 総括																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	小課題や課題に関する小グループのディスカッションを実施し、課題意識を高め、多角的多面的に視野をひろげる。					工夫 その 他の 。	各領域とも、生活科の内容や目標に照らした課題や活動を講義内で行うことにより、教育者としての視点だけでなく、学び手である児童の視点から生活科を考えるような工夫を行っている									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	課題や活動における事前の調査等を時間外に行う（10h）															
	事後	講義や課題、活動の振り返りを行う（10h）															
教科書	小原友行・朝倉淳編 『生活科教育改訂新版』 学術図書，2010年																
参考書	文部科学省 『小学校学習指導要領』 東京書籍，2018年 文部科学省 『小学校学習指導要領解説生活編』 日本文教出版，2018年																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	各担当教員から出される課題	30%															
	各担当教員から出される提出物	70%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																